

市議会だより



県総合教育センターの移動講座が行なわれた生冠中学校・・・(11 ページに写真の説明)

国保税を引き下げ (4ページ)

6月議会の概要 2ページ
委員会審査の主な内容 2～5ページ
一般質問 6～9ページ

平成21年度政務調査費 10ページ
表決結果 11ページ
議会の動き 12ページ

発行：いちき串木野市議会 編集：いちき串木野市議会広報特別委員会

〒896-8601 いちき串木野市昭南通 1 3 3 番地 1 Tel.0996-33-5648
いちき串木野市ホームページアドレス <http://www.city.ichikikushikino.lg.jp/>
いちき串木野市議会Eメール gikai1@city.ichikikushikino.lg.jp

国保税を引き下げ

平均で1人6689円、1世帯1万1285円

平成22年第2回定例会（6月議会）を、6月7日から29日までの23日間の会期で開き、平成22年度一般会計補正予算や国民健康保険税を引き下げるための条例改正、平成23年度から市来保育所を民間に移管するための条例改正など12議案を原案のとおり可決（承認）しました。

平成22年度一般会計補正予算は、9409万2000円を追加し、歳入歳出予算の総額がそれぞれ131億5790万円となりました。今回の補正の主な内容は、羽島漁協水産物加工処理施設を改修する種子島周辺漁業対策事業補助金や口蹄疫対策支援のための補助金などです。また、継続審査となっていました川内原子力発電所3号機増設に係る陳情については、増設に賛成の陳情を賛成多数で採択し、増設に反対の陳情は賛成少数で不採択としました。

総務委員会 主な審査内容

川内原発3号機増設 賛成陳情を採択・・・
反対陳情は不採択

一般会計補正予算中、委員会付託分

主な内容

- 繰越金 1837万円
平成21年度繰越見込額6億1755万円のうち1837万円を補正財源として追加するもので繰越金の総額は9837万円となる。
- 市債 500万円
県単急傾斜地崩壊対策事業の市負担分に100%充当するもので、市債総額は15億3150万円となる。

車両事故の和解及び損害賠償の額

串木野庁舎玄関前において発生した車両事故について、和解を成立させ、損害賠償の額を定めるもので、市の負担額1万8200円については、全額保険で対応。

企業の誘致促進及び育成に関する条例の一部改正

補助対象の要件となる新規地元雇用者を10人から5人へ緩和するなど、企業誘致の促進を図るもの。

問 新たに対象となる事業種は。

答 これまで、製造業を中心にしていたが、今回、倉庫業、水運業等についても対象事業種とした。

問 漁港外港も含めた総体的な企業誘致のあり方は。

答 港を生かした市の活性化を進めていかなければならないと考えており、倉庫業、水運業等も含め、積極的な企業誘致に取り組んでいく。



誘致促進が期待される西薩中核工業団地

職員恩給条例の廃止

合併時、旧市来町に対象者がいなかったため暫定施行していた恩給条例を、受給対象者がいなくなったことにより廃止をするもの。

専決処分の承認（市税条例の一部改正）**主な内容**

- ・給与支払報告者及び公的年金等の支払い者に対して、非課税限度制度の判定等に必要な扶養親族に関する事項を市町村へ報告する規定の新設（平成23年1月1日～）
- ・65歳未満の公的年金等受給者について、年金所得と給与所得を合算して給与所得から特別徴収できるようにする。（平成22年度～）
- ・市たばこ税の税率改正

旧3級品のたばこ（エコー、わかばなど）は、1000本あたり1564円を2190円に、旧3級以外のたばこは、1000本あたり3298円を4618円に引き上げる。（平成22年10月1日～）

職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部改正

育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律等の改正を踏まえ、3歳未満の子のある職員から請求があった場合に、時間外勤務をさせてはならないという規定の新設や職員の配偶者の就業の有無や育児休業の取得の有無の状況にかかわらず育児休業、育児短時間勤務、部分休業を取得できるようにするもの。

問 育児休業取得の対象となる職員数は。

答 育児休業取得の対象となる3歳未満児を持つ職員は、男性職員が37人、女性職員が4人で、部分休業、育児短時間勤務の取得の対象となる6歳未満児を持つ職員は、男性職員が70人、女性職員が8人である。

川内原子力発電所3号機増設に係る陳情（26件）

これらの陳情には、川内原子力発電所3号機増設に賛成する6件の陳情と増設に反対する20件の陳情有あり、総務委員会においては、今年1月21日と22日に、参考人招致を行うなど審査を続けてきました。6月22日の委員会においては、それぞれの立場から意見が述べられ、討論、採決の結果、川内原子力発電所3号機増設に賛成の陳情6件を賛成多数で採択すべきものとし、増設に反対の陳情20件を賛成少数で不採択すべきものとなりました。

委員会で述べられた主な意見

- ・1、2号機はすでに運転されており、3号機増設については、安全性が確保されれば増設もやむなしという意見が大方ではないか、また、交付金の問題について考えることも必要なのではないか。
- ・安全性を第一義としながら、絶対に事故がないように、そういう訓練をきちんとしていくことを要望した上で、低炭素社会を目指す中においては、ある程度、原子力も必要ではないか。
- ・心情的には、原発は無い方がいいと思っているが、今現在、設置されていることや、他市における反対陳情をみても、だんだんと原発に関する考え方が、安全性を第一義に考えて、エネルギー政策を展開していかなければならないというふうに変わってきているのではないか。その点からも、防災対策の拡充など、本市のことを考えた原発問題であつてもいいのではないか。
- ・原発は安全性が確立されていないので、事故があつたときに、深刻な事態に陥る可能性がある。また、本市の基幹産業である漁業への温排水による影響などを考えた時に、目先の交付金などに目が奪われるのではなく、風力発電や太陽光発電など安全な自然エネルギーで自給する道を求め、原発からは撤退をしていくということが、懸命な判断ではないか。
- ・国連のIPCCという組織が地球温暖化対策について原子力発電所はその選択肢にならないという方針を出すなど、原子力発電所はCO₂の削減に役立つようなものではないと理解している。議会も地方自治体も、住民の不安を無くしていくというのが大きな仕事であるので不安が大きくなるようなことは、ブレーキをかけていくということが大事である。

教育民生委員会 主な審査内容

市来保育所民間移管・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・平成23年4月から

一般会計補正予算中、委員会付託分**主な内容**

後期高齢者医療制度事業費 120万円
後期高齢者に対する人間ドッグ経費の7割を助成

するもので、1人当たり平均3万円の年間受診者を40人と見込み計上するもの。

専決処分の承認（国民健康保険税条例の一部改正）

中間所得者層の負担緩和を図るため、基礎課税額の医療分の限度額を47万円から50万円に、後期高齢者支援金等分の課税限度額を12万円から13万円にそれぞれ引き上げるとともに、非自発的失業者が在職中と同程度の保険税負担で加入できるようにするための国保税の負担軽減策を新設するもの。

保育所条例の一部改正

行政改革大綱において、公共施設の民営化を進めるために策定した公の施設に関する管理方針に基づき市来保育所を平成23年4月から民間へ移管するため条例の一部を改正するもの。市来保育所の運営費は、国から示された運営基準を平成20年度決算で約1550万円超えている。

問 公立と私立の違いは。

答 国が定める保育指針により運営することから、公立・私立にかかわらず、一定の保育水準は保たれる。

問 民間移管された場合の市の関与は。

答 国・県・市で運営費を全て負担している。監査資料の確認のほか、児童福祉法に基づいた適正な指導や助言を行っていく。

問 民間移管後のサービスのあり方は。

答 移管先法人に対し、従前と同様の一時的保育や延長保育の実施を要請したい。

問 保育士が代わることで、児童の動揺の解消方法は。

答 移管先法人と協議をしながら、2ヶ月以上の引継ぎ期間を設ける。



民間へ移管される予定の市来保育所

国民健康保険税条例の一部改正

平成21年度の決算剰余金を財源として国民健康保険税の負担を軽減するため、医療分及び後期高齢者支援金分に係る税率等を改正するもの。被保険者1人当たり平均で6689円、1世帯当たり平均で1万1285円の減額が見込まれる。平成25年度までの4ヶ年で生じる約2億8000万円の財源不足については、平成21年度の決算剰余金を充当し、平成25年度末の基金残高については、平成21年度末と同額程度の約6億8500万円と見込む。

問 今後の保険料改定の時期は。

答 平成26年度以降に考えている。

問 平成25年度の基金は保険給付見込額の3ヶ月に満たなくていいのか。

答 平成25年度当初においては、約8億の基金があると見込まれ、基金の取り崩しが可能であるとともに、基金取り崩し後も基金が保険給付見込額の3ヶ月分に近いことから、国保税の引き下げを行うこととした。

改正前後のモデル世帯の国保税（試算）

○給与収入350万円(所得金額227万円)夫婦2人・40歳未満・子ども2人・固定資産税4万円

	改正後	改正前	増減
保険税年額(円)	342,400	379,600	△37,200

○年金収入300万円(所得金額187.5万円)夫婦2人・60歳以上65歳未満・固定資産税4万円

	改正後	改正前	増減
保険税年額(円)	300,600	330,000	△29,400

国民健康保険特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額は、それぞれ43億1582万円

主な内容

医療費適正化特別対策モデル事業費 397万円

問 特定健診の現状と受診率は。

答 医療機関で直接、健診できる受診券を配布していることから、平成21年度の受診率は、38.1%で前年より3.6%上昇している。

問 受診率の目標は。

答 国が設定した受診率65%を達成するため、年々10%ずつの受診率上昇を目標値に掲げている。

介護保険特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額は、それぞれ 32 億 840 万円

主な内容

高額医療合算介護サービス費 2175 万円

同一世帯において、介護保険と医療保険の両方を利用した場合、年間を通すと高額になるため、所得等に応じて、年間での負担限度額を設け、その限度額の超過分を介護保険と医療保険で按分して還付するもの。

産業建設委員会 主な審査内容

口蹄疫対策支援・・・・・・・・・・ ・・5月以降に出荷時期を迎えた子牛が対象

一般会計補正予算中、委員会付託分

主な内容

1. 口蹄疫対策支援事業補助金 840 万円
5月から9月までの出荷を延べ840頭と見込み1頭につき1ヶ月当たり1万円を支給。
(3ヶ月を限度)

問 本市の経営者数と全飼育頭数は。

答 63の経営者で飼育数は5184頭、内、子牛は596頭である。

問 仮に口蹄疫が発生した場合、殺処分の埋設地確保は。

答 経営者の畜舎、場内等に埋設するのが理想である。8割は埋設候補地を自前で確保できる状況であり、2割については市有地を串木野・市来地域に1ヶ所ずつ検討している。

2. 種子島周辺漁業対策事業補助金 7576 万円
 - ・羽島漁業協同組合水産物加工処理施設改修 7006 万円
 - ・串木野市漁業協同組合フォークリフト2台購入 570 万円

問 種子島周辺漁業対策事業制度とは。

答 ロケット打ち上げによる種子島周辺漁業への影響を受けた事業者等に対し、国・県・市の補助により経営の安定を図る制度である。

3. いちき串木野づくし産業まつり事業補助金 700 万円

4. 県単急傾斜地崩壊対策事業 1000 万円
(設計委託料 100 万円を含む)

問 事業の高さ制限、保全家屋戸数の基準は。

答 市が事業主体の場合の基準は高さ5m以上で、家屋数5戸以上である。

問 保全家屋戸数5戸以上の場所は何ヶ所で整備率は。

答 土砂災害危険区域243ヶ所の内、5戸以上は125ヶ所で、平成21年度までに74ヶ所が整備済で整備率は約59%である。

字の区域の変更

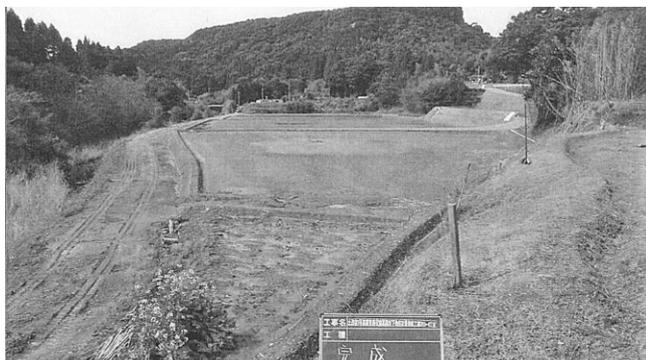
冠岳松下地区の基盤整備事業が完了したことに伴い、整備後の形状に応じ、字の区域を変更するもの。

問 事業完了により水田、畑はどの程度集約されたか。

答 水田は筆数134筆が57筆に、畑は34筆が15筆に集約された。

基盤整備事業が完了した冠岳松下地区

(整備後)



(整備前)



一般質問

6月15日、16日の本会議で7人の議員が一般質問を行いました。この原稿は、議会会議録をもとに、質問した議員の責任においてまとめたものです。
(掲載は通告順)



西別府治議員

住民参加による 政策の決定は

地区の代表などに参加を要請

問 3月に開業した神村学園前駅の新駅周辺まちづくり計画の策定において、住民参加による政策の決定は進められないか。また、開業による利便性向上の情報発信、駅の利用状況や現状について伺う。

答 住民が望む地域のあり方等を計画に反映させるため、地区の代表に参加をいただくなどの方策を講じて進めていきたい。4月の乗降者数は、1日当たり約1500人、うち学生が約1300人、一般が約200人である。皆さんの力で新駅の開業が実現した。将来に向かっての絶好のまちづくりのチャンスである。本市は数多くのイベントも実施しており、様々な機会をとらえ情報発信していきたい。



神村学園前駅の様子

原発の
温暖化防止効果は

安全が大前提で
温暖化対策の基幹電源

問 化石燃料に頼らない発電の選択や、出力が不安定な太陽光発電に不可欠な送電線（スマートグリッド）の整備や3号機増設の経済効果について伺う。

答 低炭素社会の実現には、基幹電力として、安全の確保が大前提での原子力や太陽光などの電源が必要である。このためには、基本システムであるスマートグリッドの構築などを強力に推進することも必要と考えている。21年度までに電源3法交付金は約31億円交付されており、3号機が整備されると仮定すると、今後増額されると思われる。電気料の給付金については、距離割の導入で地域の交付拡大を訴えていく。



西中間義徳議員

子宮頸(けい)がん ワクチン助成を

効果をみて判断する

問 子宮頸がんワクチンは、昨年の発売以来各自治体で公費助成が始まっている。子宮頸がんが年間3500人が命を落とすといわれる。女性の命と健康を守るために、本市でも効果のある世代に公費助成すべきではないか。

答 昨年12月に発売されたばかりなので、予防効果も分からないことから、様子を見て判断したい。

介護ボランティア
の育成は

他市の状況を見て判断

問 急速な少子高齢化社会に備え、元気なお年寄りを増やすために65歳以上の方を対象に「介護ボランティアポイント制」を導入すべきではないか。

答 この制度については、昨年4月から霧島市、8月から薩摩川内市が実施しているが、先進地の動向や、効果等を把握し、引き続き検討していきたい。

生活便利帳の作成は

改定版を全戸配布する

問 本年10月に合併して5周年を迎える。市民が見やすい「生活便利帳」を作成し配布すべきでは。

答 合併時の「ガイドブック」をより見やすくした改定版を来年度の早い時期に全戸配布する。

子育て団地の
入居基準は

子育て支援を考慮

問 子育て団地（雇用促進住宅）の入居基準について伺う。

答 当団地は利便性が高く、子どものいる世帯を優先しながら若い夫婦を認めるなど子育て支援につながるよう考慮したい。家賃は、現家賃との整合性、民間の状況も考慮するなど、適正に設定したい。

その他質問

○女性特有がん検診及びヒブワクチン予防接種等の受診率等について



宇都耕平議員

市来駅周辺の
総合的整備を

区画整理事業において行う

問 本市には、3つのJR駅があり、新駅は勿論、串木野駅前も整備された。同様に本市の玄関口である市来駅周辺の整備を図るべきと思うが、いかがか。

答 市来駅前地区の区画整理事業において行う予定にしているが、事業着手には相当な期間が見込まれる。

問 事業着手に時間が掛かるのであれば、通勤、通学時などに交通事故発生危険性が高い県道市来停車場線の歩道設置はできないか。

答 朝夕の交通量も多く、歩行者と車道の通行区分がないので、歩道設置については地域振興局と協議していきたい。

問 市来駅の身障者用駐車場は早急な対応で2ヶ所設置されたが、少し遠く感じる。利便性を考え、駅前正面左のJR駐輪場を相談してはどうか。

答 現段階では、身障者用駐車場は足りていると考える。場所については、JRと協議していきたい。

大里川左岸の
堤防拡幅工事は

ほ場整備と
一体的に整備

問 前回の質問で、堤防拡幅工事は、川南ほ場整備と並行して事業実施を県に要望すべきとしたが、どのようになっているか。

答 ほ場整備事業は地元の同意も90%程度得られ、事業採択に向け具体化が進んでいる。河川改修の事業実施計画も、ほ場整備事業と並行し、進捗状況や実施時期を勘案し、県に積極的に要望し協議を重ねていく。

問 一体的整備が一番合理的だが、時間がかかることから、せめて川の中洲（寄洲）除去を要望できないか。

答 県の河川については、住民の要望として強く訴えた結果、地域振興局建設部が現場を視察することになった。



濱田尚議員

観音ヶ池市民の
森の整備

観光資源となるよう努める

問 市の花、桜が今年も咲き誇り、市内外から多くの見物客が観音ヶ池市民の森を訪れた。休日ともなれば、警備員がいるにもかかわらず、池周辺では渋滞も発生するほどである。また、道路も狭いため、たいへん危険である。このような状況を改善しながら、また、市民の森として一年中多くの人に訪れてもらうように、情報発信、環境整備に努めるべきではないか。

答 危険な箇所については現地を調査し、蓋板設置などにより改善を図るなど、整備に努めたい。また、年間を通じての入り込み客の増を図るため、桜のほか、ツツジ、アジサイ、モミジなどを植栽している。昨年度は、桜やヤブツバキを植栽した。今年度は、交流センターの上方にある広葉樹林の改良や、観光地の環境整備として、看板の補修、沿道にある桜の下刈りなど行うこととしている。今後も継続的にボランティア団体や市民の皆様の協力をいただきながら取り組みたい。

伝統芸能の保存

側面から支援、
保存に努める

問 少子高齢化、過疎化が急速に進んでいる状況だが、伝統芸能の継承・保存に対する支援は十分か。

答 学校においては、郷土の伝統文化や歴史に対する理解を深め、尊重し、さらに継承・発展させる機運の醸成を図るという視点に立って、各教科や道徳、特別活動で学習を進めている。また、学校や子供会などで文化財少年団を組織するなど、実際に活動に参加して、郷土芸能の継承や郷土理解に努めたい。

問 市内各地の伝統芸能団体で構成する協議会を設置して、連携・協力の体制をつくってはどうか。

答 まずは文化協会の中で、伝統芸能を取り巻くさまざまな問題点について話し合い、相互理解、相互協力を図りたい。



中里純人議員

省エネルギー

推進する

問 本市では、平成19年度に地域省エネルギービジョンを策定し、28年度までで、平成18年度を基準として8.9%のエネルギー削減計画である。現時点での達成率はどうか。

答 達成率については、把握していない。市全体で省エネルギーに対する広報啓発活動をさまざまな機会をとらえて実施したい。

問 串木野庁舎の故障している空調設備の更新はどのようになっているか。

答 本年度基本実施設計の予算を計上した。太陽光を含めた環境等に配慮したシステムを検討している。次年度以降に導入し、省エネ対策を図りたい。

問 節水対策について。鹿児島市や京都市の小中学校では水道蛇口に節水器具を取りつけ、水道料金を15～20%削減している。本市での導入計画について伺う。

答 小中学校の平成21年度の水道料金は、954万3000円である。各学校で節水対策を行っている。節水対策が不足するようであれば、節水コマ等のことも今後検討したい。

問 節電器具導入について。寿命が4万時間とすぐれ、ランプ交換などのメンテナンスコストの削減、電力費とCO₂の削減、水銀を使用しないなどの利点があるLED照明器具の導入について伺う。

答 照明設備の老朽化が進んでいる。LED照明器具などを含めた形での設備の選定をし、次年度以降の改修を考えている。

問 車の使用を減らし、健康づくりという観点も含めて、電動自転車に対し鹿児島市では1台につき3万円の補助が出されていて好評である。本市も導入すべきでは。

答 補助については現在のところ考えていない。

問 家庭用太陽光発電設置補助について。買い取り制度へ移行してから、設置を検討される方々も多く、市の補助制度の要望も高いがどうか。

答 平成22年4月現在で319件設置され、増加傾向にある。県内市町村の状況を見ながら検討したい。

その他質問

○子宮頸がん予防ワクチン接種補助について



中村敏彦議員

温排水は漁業資源を破壊

大きな変化はない

問 平成18年を平成元年と比較すると、市来漁協は57%、羽島漁協は78%も漁獲高が減少している。温排水の影響と指摘する意見もあるが見解を伺う。

答 九州電力、県水産技術開発センター、海域モニタリング技術委員会などの調査・審査は、1、2号機建設前の事前調査から30年近く行われているが、周辺海域の生物や環境等に大きな変化は見られない。

問 漁業者や市民の疑問、また、命・財産を守る観点から九電・県・国に再調査を要請すべきではないか。

答 深層取水方式をとっており、温排水の影響とは考えられないが、安全対策は要望していく。

「主人公は園児」
に反する

市政全般を視野
に入れて

問 保育所の民間移管に際し「主人公は園児」といわれたが、照島保育園について数年間は検証しながら次の段階へ進むべきではないか。

答 平成18年策定の行財政改革推進大綱に基づき、市民の皆さんの立場に立って進めている。

問 「保育は人生最初に受ける社会保障」の観点から「民営化見直し」「実施時期の延期」「半数は公立で残す方針」などを掲げる自治体もあり、全国的には約半数が公立。本市の「次世代育成行動計画」に照らしても行政と保護者のアンテナ役として公立で維持すべきと考えるのがいかがか。

答 県内の公立保育所は全体の6分の1。薩摩川内市、鹿屋市は全部民間である。照島保育園は園児も1.43倍に増えており「民間移管してよかった」と評価されていると考えている。

新幹線開業と観光政策

観光は大きな産業

問 県及び各自治体は、新幹線全線開業に向けて「増やす・広げる・活かす」を基本に観光政策を進めている。グリーンツーリズムなどの広域観光、旧蒲生町の「カモコレ」のような、イベントと観る・食をつなぐ期間パンフレットは検討されないか。

答 観光は大きな産業で他市および地元関係者と連携・協調して観光行政を積極的に進める計画である。



東 育代議員

子ども広場の整備

年次的に整備計画を進める

問 広場や公園で、子供たちが安心して遊べるような子ども用(乳幼児を含む)道具の整備状況はどうか。

答 市内 38 公園のうち、28 の公園に遊具の設置があり、長崎鼻公園には、乳幼児用遊具がある。

問 老朽化が進んでいる既存の遊具について、補修や点検など今後の整備計画はどのようになっているか。

答 指定管理者から、毎月遊具の点検やトイレ清掃の実施状況報告を受け、必要に応じて修繕し、計画的に予算措置をしている。

問 公園の場所がわかりやすいように、案内版の設置は考えられないか。

答 長崎鼻公園や小水林間広場（ダム公園）などは案内版を設置する。

問 公園マップがあれば、幼児や子供たちの利用も増えるのではないか。

答 身障者用トイレの表示なども考慮し、公園の状況をホームページ、パンフレットでも案内する。

子宮頸がん予防
ワクチン支援

国の動向を
見ながら検討

問 ウイルス感染が原因とされる子宮頸がんは、11 歳から 14 歳の女子に予防ワクチンを接種すると効果が高いといわれている。世界中では 100 を超える国々が実施しているが、わが国では平成 21 年 10 月に承認されたばかりであり、正しい知識と保護者の理解が大切である。予防意識の啓発活動には、教育委員会との連携が必要であると思うがどう考えるか。

答 学校教育における性教育は重要であり、保健室便りなどで周知を図る。

問 平成 21 年 12 月から一般の医療機関でも接種可能となり、子宮頸がんの予防につながると考えるが、費用が高額であり負担が大きい。公的助成は考えられないか。

答 国の動向や県内の実施状況、市の財政状況を見ながら検討する。

請願・陳情とは

●請願・陳情

市政についてご意見やご要望があるときは、誰でも請願書や陳情書を議会に提出することができます。

「請願書」を提出する場合は、本市議会議員の紹介が必要です。「陳情書」の場合は議員の紹介は必要ありません。

※ 請願者・陳情者の住所・氏名は一般に公開されません。

●請願・陳情書の作成

請願・陳情書には、決まった書式はありませんが、次の要領で作成してください。

○提出年月日、請願・陳情者の住所・氏名等を記載し、押印してください。（法人・団体等で提出する場合は、事務所等の所在地、名称、代表者の氏名を記載し、代表者印を押印してください）

○請願の場合は、必ず紹介議員の氏名を記載し、押印してください。

○請願書・陳情書にはその内容を示す表題を付け、趣旨は簡潔に、理由は詳細に記載してください。

○あて先は市議会議長としてください。

○提出部数は 1 部です。

●提出方法

請願・陳情はいつでも受け付けていますが、原則として定例会の運営について開かれる議会運営委員会の前々日までに受理したものが、その定例会で審査されます。それ以降に受理したものはついては、次回の定例会で審査することになります。

●審議の流れ

提出された請願・陳情は、本会議を経て関係委員会で審議され、その審査結果に基づき本会議で採決をされます。結論の出た請願・陳情は、結果を郵送でお知らせしますが、継続審査となった場合は、次回の定例会で再審査されることになります。

※陳情については、議会運営委員会で取り扱いを協議し、本市の権限に属さない事項の場合は、その写しを議員全員に配布することになります。

政務調査費をこう使いました

～平成 21 年度議員別収支実績～（平成 21 年 12 月～平成 22 年 3 月分）

○政務調査費は、議員の調査研究活動に要する経費の一部として、議員個人に交付されています。

○交付額は議員 1 人当たり月額 1 万円（今回は 12 月～3 月分の 4 万円）です。使用額が交付額に達しない場合、残額は返納されています。

○議員は、領収書原本を添付し全ての内容を議長に報告することが義務付けられています。

○これらの書類等は情報公開の手続きにより閲覧することができます。

（単位：円）

議員名	支出額	左の主な支出内容		
		項目	金額	具体的支出事項
平石耕二	8,643	資料作成費	7,140	インク代、用紙代
		その他の経費	1,503	ファイル、パンチ
西中間義徳	31,705	資料購入費	31,705	「地方議会議員活動データファイル」等図書購入費
宇都隆雄	16,780	資料購入費	16,780	「地方議会議員活動データファイル」等図書購入費
中村敏彦	34,198	資料作成費	7,108	インク代、用紙代
		資料購入費	19,340	「地方議会議員活動データファイル」等図書購入費
		広報費	7,750	配布用市議会報告印刷費(1回)
南竹篤己	25,760	資料購入費	25,760	「地方議会議員活動データファイル」等図書購入費
枇榔秋信	0			
東育代	0			
楮山四夫	25,000	広報費	25,000	配布用市議会報告印刷費(1回)
濱田尚	0			
中里純人	12,243	資料作成費	2,763	インク代、用紙代
		資料購入費	9,480	「地方公共団体歳入歳出科目解説」等図書購入費
西別府治	30,922	広報費	30,922	配布用市議会報告印刷機リース料、ロールスター代他
下迫田良信	30,000	資料作成費	30,000	デジタルカメラ、プリンター
寺師和男	0			
原口政敏	0			
宇都耕平	36,540	資料作成費	36,540	パソコン、プリンター、トナー代、用紙代
福田清宏	24,190	資料作成費	20,230	インク代、トナー代
		資料購入費	3,960	「地方議会人」図書購入費
東勝巳	40,000	研究研修費	40,000	自治体政策セミナー
竹之内勉	18,060	資料作成費	4,720	インク代
		資料購入費	12,210	「議会基本条例の考え方」等図書購入費
		その他の経費	1,130	ファイル、のり
合計	334,041			

第2回定例会(6月)の表決結果

1. 全会一致で可決(承認)された議案

(1) 専決処分の承認

- ① 国民健康保険税条例の一部改正

(2) 平成22年度補正予算

- ① 一般会計
- ② 国民健康保険特別会計
- ③ 介護保険特別会計

(3) 条例

- ① 国民健康保険税条例の一部改正

- ② 職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部改正

- ③ 職員恩給条例の廃止

- ④ 企業の誘致促進及び育成に関する条例の一部改正

(4) その他

- ① 字の区域の変更
- ② 車両事故の和解及び損害賠償の額

2. 賛否が分かれた議案(○は賛成、●は反対)

(議案名)		(議員氏名)														竹之内 勉				
		平石 耕二	西中間 義徳	宇都 隆雄	中村 敏彦	南竹 篤己	枇榔 秋信	東 育代	楮山 四夫	濱田 尚	中里 純人	西別府 治	下迫田 良信	寺師 和男	原口 政敏		宇都 耕平	福田 清宏	東 勝巳	
条 例	専決処分の承認 〔市税条例の一部改正〕 (承認)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	議長職のため表決に参加しない
	保育所条例の一部改正 (可決)	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	
陳 情	いちき串木野市の保育環境を充実させ、公立保育所の継続を求める陳情2件 (不採択)	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●		
	川内原子力発電所3号機増設に賛成する陳情6件 (採択)	○	○	○	●	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	●	○	●		
	川内原子力発電所3号機増設に反対する陳情20件 (不採択)	●	●	●	○	●	●	○	●	●	○	●	●	●	●	○	●	○		

3. 全会一致で否決された議案は、ありませんでした。



●表紙の写真●

6月25日(金)に生冠中学校で鹿児島県総合教育センターの移動講座が行われ、日置地区内の小・中学校の理科の先生が「子どもが目的意識をもって取り組む理科の授業」のテーマで研修を行いました。写真は、そのときに行われた1年生の研究授業の様子です。深さによる水の中での圧力(水圧)の大きさについて、ペットボトルなど身近な素材を用いて作った自作の実験道具を使って実験をしました。



沖の島付近を航行するフェリーニューこしき
(羽島「サンセットパーク」から撮影)

議会の動き (平成22年5月～平成22年8月)

- | | |
|---|--------------------------------|
| 5月19日 第4回財政問題議員研究会 | 7月13日 瀬戸内町議会行政視察来訪 |
| 24日 県市議会議長会臨時総会 | 14日 産業建設委員会所管事務研修(22日、27日、28日) |
| 25日 全国市議会議長会定期総会 | 15日 第5回財政問題議員研究会 |
| 31日 さつま町議会行政視察来訪 | 20日 第12回議会広報特別委員会 |
| 6月3日 議会運営委員会 | 27日 第13回議会広報特別委員会 |
| 7日～29日 平成22年第2回定例会 | 29日～30日 県市議会議長会定期総会(西之表市) |
| 7日 本会議(開会)
議員全員協議会 | 8月6日 市町村政研修会(鹿児島市) |
| 15日 議会運営委員会 | 19日 第6回財政問題議員研究会 |
| 15日～16日 一般質問(7人) | |
| 16日 議員全員協議会 | |
| 17日 議案質疑 | |
| 18日 産業建設委員会 | |
| 21日 教育民生委員会 | |
| 22日 総務委員会 | |
| 24日 産業建設委員会所管事務研修 | |
| 25日 議会運営委員会 | |
| 29日 本会議(閉会)
議員全員協議会
第11回議会広報特別委員会 | |

議会へのご意見を お寄せください

○あなたの声を紙上で紹介します。(匿名不可)
議会広報特別委員会(議会事務局)まで

議会傍聴にどうぞ
車椅子のまま傍聴できます
次回の議会は**9月2日**からの予定です

編集後記

今年の夏祭りは、口蹄疫の関係で中止が相次いだ。家族や友人との夏祭りを楽しみにしておられた方々も多かったと思う。大空いっぱいに広がる花火もいいけれど、子や孫と一緒に我が家でバケツを横に、線香花火で楽しむのもいいのではないか。それなりの工夫で最高の夏の思い出を！絶対、水難・交通事故のない無事故の夏を！ちょっと気取って「議会だより」を肴にして、ビールを飲むのもいいのでは？
(西中間義徳)

議会広報特別委員会		
委員長	枇榔	秋信
副委員長	平石	耕二
委員	西中間	義徳
〃	中村	敏彦
〃	南竹	篤己
〃	宇都	耕平